



へたにより、問題点や差別的なことも含めた統計グラフや文書が、社会に理解を広めなければならない。

その思考過程で最近頭の中によく浮かぶ、かなり突飛な着想がある。そもそも宇宙はその成り立ちにより、いくつかの絶対的な物理法則によって支配されている（と信じて科学している）。その1つに、熱力学第2法則がある。エントロピーは増大し、仕事と熱のエネルギーの質は変化して乱雑へと向かう。量子力学の不確定性の概念により決定論は影を潜め、ラプラスの悪魔は消えた。また、熱力学第2法則を否定し、永久機関を実現せんとする試みは、マックスウェルの悪魔にも不可能であった。

しかし、第2法則は破れないとしても、マックスウェルの悪魔に汗をかかせる方法はどうか。この思考実験の検証過程で得られた結果によると、情報はエネルギーそのものであり、過去の情報を忘れる時（新しい情報を得る準備状態になる時）にやり取りされるのだそう。これは、汗をかいて仕事をして、エントロピーの増大に逆らって系を維持しようと介入する時には、過去の情報を棄てて新しい状態へ遷移しなければならないという示唆ではないだろうか？ そのために「同じ理想を持った多職種のプロフェッショナル」が権威主義や背後に潜む政治的意図にとらわれず、議論し止揚する組織、すなわち現在の循環器で言うところのハートチームが、その解決法の1つではないかと思うのである。

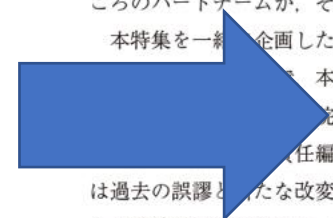
本特集を一緒に企画した当法人の院長・松居喜郎北海道大学名誉教授が後述し、本稿では当院での取り組みについては詳述しないが、内容を「主権者」の立場から一言述べたい。

責任編集をした特集企画の巻頭でも書いたように、科学技術は過去の誤謬と新たな改変を繰り返しながらも進歩している。そして、それを支える精神はわれわれホモ・サピエンスが本質的に備えているものである。それはユヴァル・ノア・ハラリが言うところのホモ・サピエンスが10万年前に経験した認知革命、すなわちフィクションを作り出し、それを信じる力である。そして、既存の物語に甘んじることなく、常に自分を観察し改変し、将来のデータとアル

- ▶ 治療戦略に活かす！ 心臓CT活用マニュアル
- ▶ Coronary Intervention 誌Vol.16 No.2に掲載されました。
- ▶ 松居院長 令和元年度北海道科学技術賞を受賞
- ▶ OCT & Complex PCI Live
- ▶ Cryo Ablation Workshop

[次のページ >](#)

「主宰」に変更



主権

